## ${ m MIDDLE1600\_4}$

1001: ェネスに 関 するレポートは、 各自でまとめてくださいかくじ

1002: . ユ | ピーで巨額の損失を出したため、 詰問されました。

泰然と揺るがぬ態度は、 立派な 教りっぱ きょう きょうじゅ そしつ

1003: 授 の素質です。

1004: 何故ならば、 ポリュビオスの名前が覚えにくく、 紛ら わ しいです。

1005: わたくし、 ぴゅ ーと吹く風のかぜ の音に、 何故か嫌悪感がありますの。なぜ、けんおかん

1006: 優れた紺屋は、 艶やかな染め物を、 ジョセフに売りました。

1007:

イェミェさんは、まずキーボードから指<sup>ゅび</sup>

を離な

してみませんか

1008: 先 程 と を き ほ ど のニュースで、 スプー ンが曲がるネタをやってました。

1009: ギ ユ ゼ ル はナイフを握り、 <sup>にぎ</sup> 私 に向けてヒュ ンヒュ ン振り回 しました。

1010: ペラゲ ヤは、 伯仲淑季でのはくちゅうしゅくき 伯、 伯、 つまり ちょうなん 長男です。

道 の心得が が、 ピェシツェにあったのか、 存じませぬ。

1012: ピーチジュ スの カップに、 ストローを刺す作業を頼みます。

1013: 前 ぜんじつ 日 の野球 やきゅう ですが、 百球 球 で完 封したピッチャ かんぷう しは、 あっぱ 天晴れです。

1014: アから来ましたが、 鋲螺を作る職 しょく に就くか、 、 気持ちが揺らぎます。

ポ

・ルタヴ

1015: 涼子はピロー コピウスが好きで、 嫁ぐ約束を果たします。とつゃくそくは

ンギャン泣く子の傍に、オロオロした親が居ます。なこをは、

赤 ぁ ん坊用で の玩具が かずおお

1017:

べ

ピ

・ビョル

ンには、

くあります。

1018: ちゃ ぶ台 返しに激怒したフューだいがえ げきど ガ が、 クラブを抜けても仕方ない。

1019: ル バ ウ ア の 鋭さ い言葉が、 心んし の臓 を 抉

1020: 沖 積 地 の何処から、 犬 のクゥー ンという鳴き声が聞こえます。

- 1021: 僕 はティモシィを推しましたが、 いっしゅう 蹴 されましたか
- 1022: ミツキェ ヴィッチが、 戦され に反対した証拠 はありますか
- 1023: きゅうしょく の昆布を食べたデュキャナンが、 郷土料理 理を思 い 出だ しました。
- 1024: クエ ツァランのジェラルドは、 派閥に所属 属せずやってくそうです。
- 1025: ご存じでしょうが、 僕はかつて、 ガヴァ ッ ツァ ナの獄卒でした。
- 1026: ありゃ、 ボスニアへ ル ツェゴビナの首都は、 サラエボでしたか
- 1027: まあ、 オバ ジ エでは、 髭を生やしても目立たないですけど。ひげは
- 1028: 白 びゃくゃ 夜は初 はじ めてですが、 奇 妙, 妙な気持ちになりますねょう。きゃ
- 1029: 地図を見る限なり かず りグレヒェンの横ですが、 ちょっと分かりにくいか
- 1030: エレ べ ターで昇ると、 テラスからビューティフ ルな景色が広が ります。
- 1031: チ ユ バ は、 傘寿の贈り物 に、 山吹色の花束を選びました。やまぶきいろ はなたば えら
- 1032: パ ヤクァルンの技巧は神業で、倒したきゃ寝首をかくぎこう かみわざ たお ねくび しか無さげだわ。
- 1033: 突 然 然 のプロポーズに、 トゥファ イ ル の で ひとみ が 潤 うる みました
- 1034: ツォ ヌプに関する予言は、 まとはず 的 外れだったみたい ・だね。
- 1035: ヒ ユ リスティ ックに約款を作るのは、 無茶ですよ。
- 1036: ۴ ウ 口 ル は、 ドゥニャの姉妹がしまい 誰だれ か、 突き止めてませんっと
- 別っ に、 ファミュイワさんの 委 嘱 状が無くても、平気でしたねいしょくじょう な へいき
- 1038: 奇妙な 妙な場所に立つゼドゥを、ょうがしょった ひゃく 百 メート - ル 先 から狙撃-仕留と め ました。
- 1039: パ ーウェ イト ト職人に、 憧 どうけい の気持ちが芽生え始めました。
- 1040: フ ア レ スの 側そく 、壁を跨ぎ、 キャ イキ ・ヤイ -と駄弁り が響きますね
- 1041: ユ ズが、 ? ユ ゼ 0 コスメで、 フ ユ シャ ピンクだけは拒みました。

- 1042:ひょっとすると、チャーチルの目に留まった動きには、 覚えがあります。 <sup>おぼ</sup>
- 1043: ボデ イ ド ル ダーのジミ ヤト フが、 このジム ムで鍛えるった て本当ですか
- 1044: ズデニェ クは、 京 急 急 急 バスで、 きょびょう 巨 猫 を きゃくしょく 脚 色 した巨編・ を執筆 します。
- 1045: イ エ ン シ ッドは 都制 制に反対し、 最後までないご だたたか € √ ました。
- 1046: ۲ の着古したスー ツは、 プピ 彐 ン 駅き で買ったものです。
- 1047: テ  $\exists$ ル ヌヴィ てクの付箋に、 空 虚をイメー ジ した 曲 を書きました。
- 1048: ポ ニャ フは、 円周率を ら百 桁 覚えてます。
- コ
- 1049: ヤ シナがどこかセ ッポが問うと、 ピッピは目を背 けました。
- 1050: 風邪だそうなので、かぜ ミャリクグルは二限目に遅刻してきます。
- 1051: 去年退れたいま 退 去した、 グ グヴォ ジク の きょうり 協 力 が、 心にしんちゅう に去来
- 1052: エ エ ズが憂えるネタは、 キャラに合わぬ突 ぬ 突 拍 子 無きことですよ。
- ジ ル ヴ 拍 の
- 1053: ヴ エ チェ スラフも指摘したが、 辞書の増訂も妥当だなあ。
- 1054: そん な ヒ 彐 口 ヒ 彐 口 になっちゃ つ て、 階段下りるのも辛 そうじゃかいだんお な 15
- 1055: ウ エ ン ダは克己し こっき て、 ピ ツ コ 口 のプラクティ スを再 開 さいかい
- 1056: ク オ タ の 弁護士が、 二ヨ ッ キとビビンバを食べました。
- 1057: 女 房 房 が か教会で紡みをようかいっか ぐ言葉に、 教 授 授 は 虚 きょ を突かれました。
- 1058: 次はディ プに 業 をやると言いましたが、 あれは撤回、 します。
- 1059: フー デェは、 靴っ が 脱<sup>ぬ</sup> げ ても、 立りっぱ に ゴ 1 ルまで駆ける 抜けました。
- 1060: 貴方の配属部署は、あなたはいぞくぶしょ イタリアのヴィ チ エ ン ツ アにある、 フ 才 ツ ア 、です。
- 1061: 三 ざんびゃく 繋がるこのデバっな イ
- 1062: 生 きっすい 粋 0 の メジ が ユ ゴ エ 育ちで、 パラディ スに、 どん ンを見たことが無な な秘密がある 11 のです。

IJ

- 侍 スイ ルヴァーサーにヒョイヒョイ行き来してたとは、 ありえませぬ。
- 1064: き 尊 と しょくぎょう きゅうりょう が 安 ち
- 職 業 ですが、 チェ シュ メでは 料 いそうです。
- 1065: 邪魔されず旗手をやれそうな、じゃまきしゅ フ エ ル スタッペンはどうでしょう?
- マルだと知り、 ギャ ロウェイは 驚

か

されました。

1066:

キョ

ンデョがパ

ン

- 1067: 1 ウ ア ・モト ウ 諸は 品島で、 ギスギスした空気をリフ レ ッ シ ユ
- 1068: ヒ メ ル ピ エ アウエズ ^ の旅行は、 事故で中止になりました。じこ ちゅうし
- 1069: デャ ン フレ 、 ス 様、 そろそろ目を覚ましてください
- 1070: 窮 居 に ですが、 ヴコヴィ ・ッチの 到 とうちゃく 着までお待ちくださ
- ギ  $\exists$ 二 ユ ルさん、 パ パ っと掃除を済ませて、 玉 ぎょくろ ぬでも飲みまた
- 1072: IJ ユ ۴ ル のアリ バ イ が 明らかにされ、 反 炭 道 がぎゃく 逆 の か 5 きぬか
- 1073: ギ エ クはダ 1 エ ットのため、 ジャ ンクフードを <sub>ぼく</sub> 滅っ たが ってます。
- 1074: ヴ 才 イチェホフスキは、 百貫もの寿司をぺろりと平ひゃっかん すし たい らげました。
- 1075: 休みを挟れ むと、 フ イ 口 メナも、 動きが鈍にぶ りますね
- 1076: 挫じ けそうだったけど、 シェベ スチェ -ンと一緒に、 b とうびょう 闘
- シ ヤ ン ゼリゼ通りを、 シンプルな霊柩車 柩 車 ・が通過、 しました。
- 1078: ウィ ッ シ ユ リストのジャワティ ーが、 見知らぬ 誰だれ か か ?ら 贈 ら れました。
- クイ ノックスで、 食 パンを二斤購入 にきんこうにゅう しました。
- 1080: ディ グビー -の初撃: が <sup>ル</sup>外ばず れ た 隙 す き で、 緊 追 追 したム ドに まれました。
- 除夜の鐘 かね が カリス 軍障 りだと、 グィドッ ティがぷりぷり怒 つ てます。
- ズ イ グ  $\mathcal{L}$ ン トは、 所得税を払い はら い過ぎており、 還付金が戻りました。かんぶきんもど
- 1083: ジ ヤ ッジ は t 潔 白 は く 白を示したが、 これを機に悪癖を矯めるべきですね。

4

- テュ -クスバ リーは、 御殿と呼ぶべき立派な家を所ごてん ょ りっぱ いえ しょ ゆう 有してます。
- 1085: ア ン テ イ ク の 机え が 7 届と < のを、 チョボトは待ち望  $\lambda$
- 1086: ヴ イ ル ~ ル は、 埼ぃ 玉でヴィ ッ ティ ヒと遊 ž つもりです
- 1087: ツ エ ザ リが 奏 でるトランペ ツ ト 0 音と は、 プロ と遜 あ
- 1088: ア ル テ イ エ 一口氏のやりで 方た つ て、 要するにただの兵糧攻ょう め ですよ
- 1089: 7 テ ヤ シ エ フ ス 丰 は、 レビ ユ レポ トを見て、 自虐気味に笑って てます。
- 1090: ウォ ヴ イ チ で、 パ ~ ット - 職 人の、 ペパ バ ーグを捕まえました。
- 1091: 雑煮を炬燵で食べると、 冬の季節だと感じますねふゆ きせつ かん
- ひらめ
- 1092: ヤ イ ッチは、 豚と肥料を使ぶた ひりょう つか った武略ないない。 を 閃
- 1093: テ イ べ -リオと決別. して から、 長が € √ 歳 規 月 が が経ちました。
- 1094: 京 阪バ スにプ ۴ ル が ? 紛ぎ れ込み、 発 す しゃ 車 が 7 遅く れ ました。
- 1095: ^ ン リー の絵は、 ミュ ハン の絵と酷似しており、 剽 いょうせつ が われます。
- 1096: ピ ツ チ ヤ が 肘じ を 壊っ たっ したのですから、 ゲ  $\Delta$ はここまでに しま
- 1097: 胸 を反らし て話すジ ヤ バ - の言語は、 =ング オ ム語ですか?
- 1098: 讃岐うどんを、 フ イ ア ッ ŀ でファティ 7 に配達 しました。
- こうぎょく
- 1099: ル ピ ーの 鋼 玉 を目指し、 シ ュヴ ア ル ツ ア ハ を 旅<sup>たび</sup> する覚悟で
- 1100: 紆余曲折あって、 在だいにち したと存じる ております。
- 1101: 頭 あたま の上を、 風がぜ が ピ ユ ピ ユ 吹き抜けたと思 ったが、 気き の せ 41 か
- 1102: 竜巻が発生 したの で、 ۴ ウ ズ イ エ  $\Delta$ ^ の 買 ゕ € √ 物 は Þ めた。
- 1103: 足並みを乱いるしないみだ すことに、 チ エ ル ヴ エ ン コ フは過敏 です 注。 意り されたし。
- 1104: = ユ ヒ エ ピ ン グに、 温 泉 泉 は 無<sub>な</sub> 11 と聞くが、 与太話だろ。

- 1105: 餃子と飲むエビスビー ・ルは、 疲れを癒すのに効果的だ。
- 1106: ウ 口 1 は 頑 固 者 で ん こ も の で、 これがジャ スパー の模造品だと認いまでうひん。 め な € √
- 1107: イ シ ユキ エ ヴィ ッチは、 大 おおさか の 道 の道頓堀 <sup>どうとんぼり</sup> で、 豚 だ まんを食べた。
- 1108: 稀有な 客 とのやり取りは筒抜けですよ、 ジ ヤ コ メ ´ッティ
- 1109: 水飴を作るため、みずあめ、っく ダミヤ ンは、 麦芽を 百 ばくが ひゃく グラ 、 ム 譲 ず つ てもら つ
- なが援護し、 月曜日にはポドヴェ<sup>げつようび</sup>
- 1110: 工 ン ツ 才 ル カを突破した。
- フ エ ン 現 げんしょう 象 で室温 一が上がり、 リビングのデコポ ンが 冷腐敗
- 1112: シ グ ル ピ エ ル ン ソ ハンの日課は、 ポ ク スペ アリブを食べることだ
- 1113: ホ ム ゲー ムで のヴェナブルズは、 卓越したなくえつ ちから 力 を発揮
- ユ ル ۴ ウ ル b 終電・ を逃 てしまったのだから、 泊と め てあげ なさ
- 1115: ij ヤ ル メ と家族は、 お 節 せちづく 作 りのウォ ミングアッ プ を て 11
- 突然握手を求められ、とつぜんあくしゅ もと ベズー -ホッフは慌 てふためく
- 1117: デ ユ ラッ ク へ山脈 脈 0 、 た も と に住む ひとびと に、 挨 拶 拶 拶 しなきゃ ね
- 1118: と っぷりと夜も更けたの で、 ミュ フィデの はくりょく 迫 力 ある き音楽 を 楽 しむ。
- 1119: 道をキュー バに布教 ふきょう したいのだが、 Þ っぱ り むず 難 し いだろう
- 1120: エ ズは、 チャ ン プに勝てば油田 出を貰えるが、 負けたら切腹 で死
- 1121: ヴ イ ジ エ ヴァノで、 虐 殺 を をくわだ てた おとこ 男 が、 捕虜になった。
- 1122: ウ 才 ン ミヨ ン が引き金を引けば、ひがねな ゴ ッ ツ オ IJ は (祝福 祝 さ
- 1123: 猛烈に広がる謎 の きびょう 奇 病に、 やっきょく 薬 局 の エミリアは疲弊
- 1124: 境 に 見えるが五分五分で、 あ の 証し 拠があれ ば  $\mathcal{O}$ 、り返るぞ。
- 1125: 二 エ ズゴ ダは、 ひゃく 百 ド ル紙幣で、 梅ぁ とシポラタを買っ

- 1126: ピネハスは厳しく配慮にも欠けるが、 棟 梁 のカリスマ
- 1127: 丰 ヤ ン プではジャプカが ~班 長 はんちょう となり、 チー -ムを完かん 璧 にまとめた。
- 1128: ク エ ン テ イ ン の そこぢから 底 力 で、 パーティ の 結 束 東 が 強 められる
- 1129: ねえねえシャ フィ ークさん、 さかな 魚 がジェット - 水 流・ を さかのぼ ってるよ。
- 1130: 巣 か らぴょこぴょこ顔を出す雛を見て、 ボグ グダン は きげん なお つ
- 1131: ボキャ ブラリ が ひんじゃく 貧 弱 なズィ バ ・だが、 いきお よく執筆 する。
- 1132: あ のデャナちゃんが独立し、 新たら い雑誌を創るとはねえ。 つく
- 1133: ゴネた挙句に警察沙汰とは、 フ イ ク ヘレトも 崖がけ っぷちかのう。
- 1134: ピ エ IJ ヤ コ フは、 軽る い微熱だが解熱剤を飲むことにした。びねつ げねつざい の
- 1135: ż ٢, このケチャ ッ プはややしょ っぱい が、 売れるだろうね。
- 1136: オ ル 0 過激なポピュリズムには、かげき 評 で ようか が真っ二つになっま ぷた かれた。
- デシ ユ ク イ は、 こっきょう 境 の守りを固いかまり め、 過激なテロでも できる。
- 玉
- 1138: ポ 力 ポ 力 の 温たた かさで、 犬が尻尾を丸いぬ しっぽ まる め グウ ^ グゥ寝てる。
- 1139: 母家が焼けたゾルニッツァだが、 離れは無事だった。
- 1140: 1 ヴ ギ エ -ニイは頭抜けっ ているが、 奴ゃっ の 代 替がたい に はなり く 得え な
- 1141: ヴ エ ツ エ ル の 防御は固 がな ₹ √ が、 ギャラリー 0 目を盗ゅる めば 崩 せますよ。
- 61 ピ ユ プランジュ では、 雑穀米が隠れ れたブ ム って 聞き € √
- 1143: そり Þ べ ッ ツ エ ッカやウェ グ ア ン が 辺の偶の人んぐう か は、 見なきゃ分か 5
- 1144: ポ ン ポ = アは、 弱冷房 に慣 ħ てい るので、 ح の 部屋は寒すぎかなっ
- 峰打ちがなる。 浅きさ 11 お かげ で、 ウ ス イ は気絶せず済んだっきぜつ てことだ。
- 1146: 風が揺れ、 T 口 マディ フ ユ ザ のほのかな香りが届

- ウォ ンヒョクが出家して久しいが、 すこぶ 頗 る元気だと聞いとるよ。 げんき
- 1148: の ひょうじょう 表 情 が、 あたま から離な
- 1149: 熱が冷めない。 ので、 フ ア マ シィで 薬り を買うが、 他か に買う É の は ある?
- 1150: 小忌衣を着たディオニュぉみごろも。き ソスが、 思ったよりもはまってたな。
- 1151: 潤 滑 油を派手にぶちまけたのは、じゅんかつゆ゛ はで ウォ シャウスキー なの?
- 1152: ウル フは、 ツァト ゥグァなど、 架空の神話体系を樹立したんだぜ。かくう しんわたいけい じゅりつ
- 1153: ツ イ ガー ニによると、 部族の具体的な狩りパターぶぞく ぐたいてき か -ンは不明だぞ。
- にいる殿下に、でんか 貢 物 のぎもの をピシピシ送るべ
- 1154: タ ステ 3 べ
- 1155: 力 テャ は、 被疑者に関わるので、ひぎしゃがか 注意深く見張ってくれ。ちゅういぶか、みは
- 1156: ざ つ くり述べると、 愚直に努力を続いちょく どりょく つづ けたが、 滅ぼされた。
- 1157: の 道<sup>み</sup>ち はつが であるなら、 ピペ ット のこともプロに訊
- 1158: ビヤ ルヌって馬主のとこに訪問するから、一緒ははし ほうもん いっしょ にきたまえ。
- 1159: 風ぜ の 強ょ  $\epsilon \sqrt{}$ 、 街ち へ行き、 楽器をデェ ・ンと演奏 奏 した。
- 1160: 予期せぬ吉 報 に、 ジョセファは思わず万歳した。
- 1161: なあ、 ポ | キュ パ イ シ 山 ・ 山脈 から、 けむり 煙が立ち上っなりたのぼ てるぞ。
- 1162: 明ぁ 日す は ヴ イ コフ 才 ルテで釣るが、 ポ ルピ ュリオスは来るかな。
- 昼夜遊転の ちゅうやぎゃくてん の矯正 に取り組み、 日中眠気と戦にっちゅうねむけ たたか たたか
- 1163: 丰 ヤ ンテ , ユは、 日 う。
- 1164: フ ア ヤ ノ は 武器鑑賞が趣味で、 ヴ イ サヤのピヌティ を e 特別好
- 1165: ポ IJ ユ ~ モ ス へは鼻っ柱が がっぱ かったか、 資料は残しりょう のこ しりょう つ て な € √
- 1166: ネ フ エ ル 1 が ^ ルプに来る、 い希望はまだ捨 ってきれ
- 1167: ~ フリ ヴ ア ン 丰 彐 イ -の北緯は、 四十一度だったと思うぞ。よんじゅういちど

- 1168: 床で座禅を組んでたら、ゆかがざぜんく にゃんこがすり寄ってきた。
- 1169: 陸尉のディー ンは、 映画が の えんしゅつ によ り、 自分のことをデョ ンと呼ぶ。
- 1170: 彼は 大名 だいみょう の子孫で、 料理を食べ過ぎメタボだそうだ。りょうり た す
- 1171: ぎょかくりょう 漁 獲 量 が減ったのは、 技 が が で じゅつ ではなく 漁 く漁業全体のぎょぎょうぜんたい の 悩<sup>な</sup>ゃ みだぞ。
- 1172: ヴチ ユ コ ヴ イ ッチさん、 しょうしょ 証 書 では、 壱という字を使ういち じょつか の
- 1173: 職 場 でクァジモドが倒れたと聞い たが、 やっぱ疲弊してたんだな。
- 1174: ざ くばらんに言うと、 明日は 検 尿 あす けんにょう が あるってこった。
- 1175: グ エ IJ ン はポジティブだが、 邪魔され悔なる し ₹ 1 . 思ぉ してる
- 1176: パ ヴ ア 口 ッテ イ の がびゅっ ひじゅつ 口门 ・ズクォ ツが不可欠らし
- 1177: 母校をは めるとウェゲナ - は逃げたが、 気 き に しすぎだろう。
- デュ フ 口 の 渋ぶ € 1 と選曲 に、 ウ オー ザー - は茶目 つ 気を覚える。
- ここを 臨 眺 する場所とは、 認みと め ぬと、 ポリュカルポスは 譲 らなか つ
- 1180: ~ パ トとニョッ キの ジ ユ が、 物議を 醸も て € √
- 1181: 星座探しはないできがった。 楽たの しくて、 今は いま チ ユ ヴ アー シ ユを探 し てるんだ。

ミン

マリ

ア

- ベ
- 1182: エ ジェライティ スは、 ポ ッパ エ アを しゃてい 舎 弟 に すべく、 ユ ポ紙を持ってきた。
- 1183: 感 極 かんきわ まったデュパ ル クは、 栄誉とともに、 イ エ と叫けけ
- 1184: エン ジ エ ルを仏門に帰依させようとは、 ヒ ユ -イも無茶をからなった える。
- 1185: 執っしつじ の ブ ロディが、 ヴァズとバシャバ シャ水浴 び して遊ぶ。
- 1186: ピ ヤ ス 1 の みゃく 脈 が いっしゅんみだ 瞬 乱 れ しゅじゅつ 手 は延期とな えんき った。
- 1187: これは、 ス ~ ル ク ボ グ イ の存続 に 係かか る、 由ゆゆ しき疑獄だろ?
- 1188: ああ、 ウ イ ニペ グ ジ エ ツ ツ に つ € √ ては、 欄 外 い に きじゅつ 記述 してください

- 1189: 弱 者っぽいからと、 パシュウィツを 侮 あなど ると、 碌な目に合わないからな。
- 1190: ヴァヴリネックは分析結果を見て、 怖気が止まらないぉぞけと
- 1191: シ エ ッ フ エ ル は星座の場所に基づき、せいざばしょもと 進む方角を決意したのさ。
- 1192: ペテン に掛けて、 ペイシェンスをゾーニョから連れ去った。
- 文章を ととの える作業は、 ヌビエーブが担当する。
- 1193: 整 ジュ
- 1194: ギ ユ ル ヴィッチは、 斜辺と角度から、しゃへんかくど 造 形 形 のうつく しさを知覚できる。
- 1195: ペニュ エ ルに そそのか され、 出奔を決めたのはスホニュだよ。しゅっぽんき
- 1196: ゾ 、ッティ の懸念は、 フ イ レ ン ツェでパ ッ パ ルデッ レにありつけるかである。
- 1197: 罪を憎 んで人を憎まず、 ヴァシリェ ヴ イ ·ッチを憎、 んでも、 仕方がない
- 1198: それ は ちょうじょう 重 畳 とヘインチェは で 呟き き、 ゼ フ イ リヌスと共に去った。
- 1199: 売ると決めたのだから、 クゥ クゥ言わずにチャ ッチャとやっちまおう。
- 1200: ヴォ ル ヴェ ラのジェプセンは利発だが、 ディ べ トすると稀に誤謬 がある。